

活用場面

AI、CI

自分や仲間の姿を振り返り、ねらいに近づくための活用

活用したソフトや機能：動画撮影機能

学年：知的障がい特別支援学級 教科：生活単元学習
単元名：さつまいもパーティーをしよう

○ 本時について(6/11)

(1)ねらい

・なかよし学級の教師や支援員を招待し、お店屋さんをする活動を通して、お客さんを笑顔にするためにはどのような話をするとういかに気付き、楽しみながら接客することができる。

A児:教師と一緒に、お客さんに挨拶をしようすることができる。

B児:お客さんを笑顔にするために、さつまいもクイズを分かりやすく出題し、販売を促すことができる。

(2)評価規準

A児:教師と一緒に、頭を下げた挨拶をしている。【思考・判断・表現】

B児:分かりやすくクイズを出題し、販売を促している。【思考・判断・表現】

(3)学習展開

過程	学習活動	ICT活用場面
導入	1 単元全体計画から本時の課題をつかむ。 なかよしの先生たちが えがおになる さつまいもパーティーをしよう。	・昨年度の様子や前時までの学習の足跡を大型テレビに提示する。
	2 本時、自分で頑張りたいことを決める。 3 役割を分担し、1回目のお店屋さんを開く。 4 撮影された動画を見て、自分のできたことや仲間の良かったこと、2回目の目標を話し合う。 ・クイズに正解したお客さんに値引きチケットを渡したら喜んでくれたよ。さらに喜んでもらうために拍手をしてみよう。	・お店屋さんをやっている様子を動画で撮影し、それを見ながら振り返りを行う。
展開	5 2回目のお店屋さんを開く。 6 撮影された動画を見て、振り返る。 なかよしの先生たちが喜んでくれた。次も工夫をして、交流学級の先生たちも笑顔になるさつまいもパーティーにしたいな。	
	7 次時への課題を確かめる。	
終末		

活用の際のワンポイント！

- 自分たちが体験したことの写真や学習の足跡を視覚的に提示することで、やる事が明確になり、見通しをもちながら安心して活動することができます。
- 撮影された動画は見たいところを何度も繰り返して見ることができるため、自己評価や他者評価がしやすくなります。